

Company data

代表取締役

林 隆一郎

茨城県出身。大学卒業後、東京信用金庫に5年間勤務。退職後2年間、有機野菜の販売事業を経営。その後、国内債権回収会社に入社。外資系企業勤務を経て、2007年12月(株)アイサスコーポレーションを設立。

Personal data



▲ 黒田 直樹氏[写真左端] 鈴木 正敏氏[写真右端]

## 不動産を中心とした金融業を介し 人生を生き抜く術を伝えたい

名高 御社の事業をお聞かせください。

林 弊社は2本柱で事業を展開しています。1つ目がコンサルタント事業、2つ目が不動産に関する事業全般です。コンサルタント事業においては、経営から金融商品運用に関するコンサルタントに至るまで幅広く手がけています。不動産事業に関しては、不動産を投資対象として捉え、一般的な不動産売買、賃貸、仲介・管理業務に加え、信託受益権の取得・保有等に関するアドバイス。また、不良債権も含めた債権の査定・買取・回収に関するサポート業務も行っています。

名高 林社長は金融業に関するプロなんですね。独立されたきっかけは?

林 父と祖母の介護がきっかけでした。それまで一度は過去に事業を興した経験を持つ私でしたが、その後は金融畑を順

調に歩んでいたんです。身内の介護のために茨城に一時帰省し、その後東京に戻ったのですが、当時世の中は不況の真っ只中。であれば自分で事業を興すかと、今から3年前に(株)アイサスコーポレーションを設立したのです。

起業の時もそうですが、妻にはいつも私のわがままを受け入れてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。私は妻以外にも仕事を通して知り合った良き仲間が大勢います。仕事に復帰する際には、そんな仲間が不況下にも関わらず取引先を紹介してくれて…。「人に恵まれたから、今の自分がある」と、常々感じています。名高 社長の人柄があってこそだと思えますよ。では、仕事をする上で大切にしていることを聞かせてください。

林 「アイサスであればどうにかしてく

れる」という言葉を多く頂けるよう、とにかくどんな案件でも損得を考えずに、“まず、やってみる”という姿勢で取り組んでいます。競売物件などでは、売り側はどうか高値で売りたいですし、買手は当然安値で買いたいですよね。その両者の妥協点を見出し、共にWIN-WINとなるような結果に導くことが大切で、私はその分野に秀でていると自負しています。このことは私が過去に何度か人生の底を経験し、そこから這い上がってきた経験があるからこそ。社員教育にも繋がりますが、「人生は諦めなければ終わりではない」ということを、事業を通じて多くの人に伝えたいのです。

名高 実は私も過去、社長と同じように人生の谷間を経験しました。ですが、今は子供のためにと常に前を向いて仕事に没頭しています。共にがんばりましょう!では、最後に今後の展開を。

林 私と同じように一度は人生の谷間を経験した人に、「チャンスは何度でもある」ということを伝えていきたいですね。実際、弊社に入った社員は同じようなバックボーンを持っていますが、現在とても生き生きと働いています。そのような社員をより増やしていきますよ。



Guest Comment  
名高 達男 (俳優)

常に前を向いて人生に挑んでいる林社長の男気に感動しました。やはり人生には楽だけでなく、苦も必要だと改めて感じます。人生の谷間を経験し、そこから這い上がった経験を持つ林社長や私が、そんな今の若い世代に“喝”を入れてやる必要があるかもしれませんね(笑)。